

冬季無災害運動推進中！

取組
期間

令和2年12月1日～令和3年2月28日

～冬季に発生しやすい北陸特有の災害に対する防止対策に取り組みましょう～



凍結による転倒災害を防ぐために

時間に余裕をもって、急がず、小さな歩幅で歩行しましょう
駐車場等は除雪・融雪し、凍結防止剤を散布しましょう
職場の危険マップを作成し、適切な履物を着用しましょう
天気予報に気を配りましょう



スリップによる交通災害を防ぐために



- ・早めに冬用タイヤを装着！
- ・急ハンドル、急ブレーキ、急発進はしない！
- ・無理のない走行計画を！
- ・交通安全マップを作成！



除雪機械による災害を防ぐために



- ・機械の故障、点検時にはエンジン停止！
- ・運転時には周囲を確認！
- ・除雪範囲内への立入禁止徹底！



屋根除雪中の墜落災害を防ぐために



- ・2名以上での作業を！
- ・保護帽と墜落制止用器具着用！
- ・作業計画を策定！
- ・作業指揮者を選任！



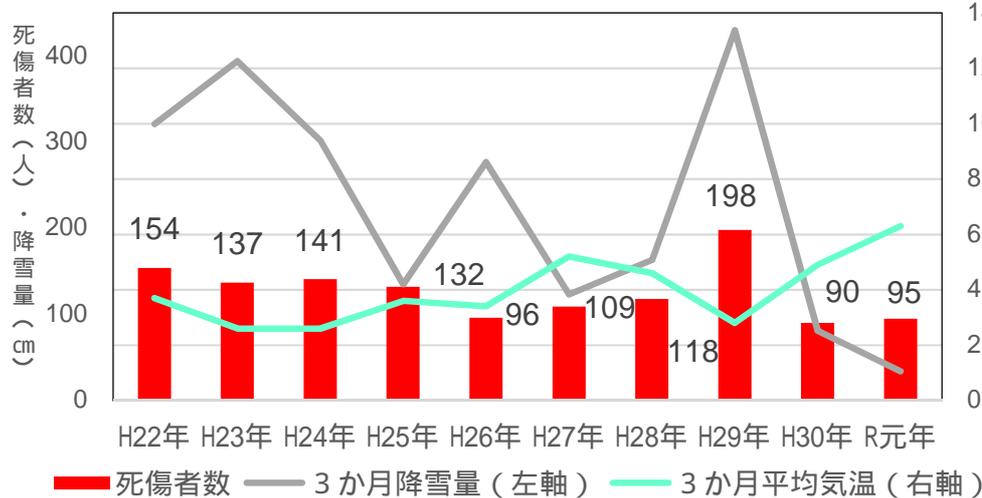
新潟・富山・石川・福井労働局・各労働基準監督署

冬季における転倒災害の概況(富山県内・過去10年)

富山県内における転倒災害による労働災害死傷者数(休業4日以上)は12月～2月にかけて増加する傾向にあり、その数は月平均でその他の月の2倍以上となっています。転倒災害の発生傾向は以下のとおりとなっておりますので転倒災害防止のためにご留意ください。

Q. 転倒災害が発生する要因は？

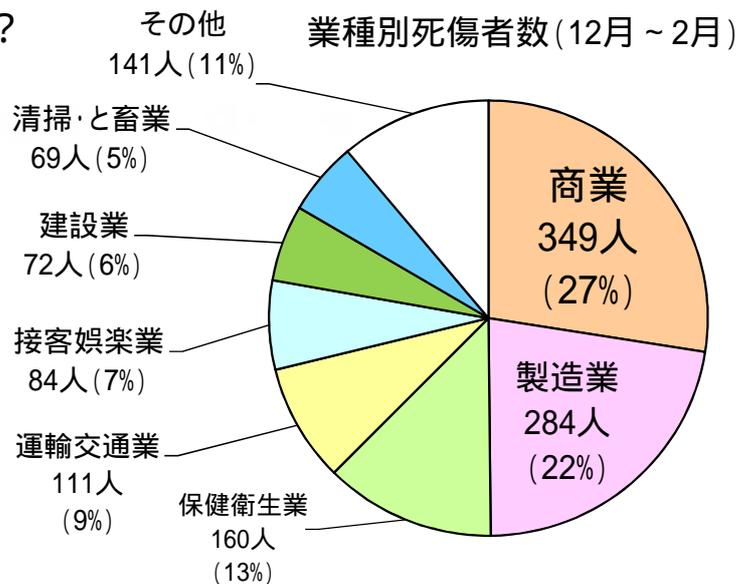
転倒災害による死傷者数の推移(過去10年、各年12月～翌年2月)



A. 転倒災害の死傷者数は平成22年以降減少傾向にありましたが、大雪となった平成29年冬には、前年より大幅に増加しました。転倒災害の死傷者数はその年の降雪量と平均気温に影響されます。

Q. どんな業種での転倒災害が多いの？

A. 商業での発生が最も多く、次いで製造業、保健衛生業での発生が多くなっています。必ずしも屋外で主に働く業種での被災が多くなっているわけではないことに注意が必要です。



Q. 何歳ぐらいの方が多く被災しているの？

A. 60歳以上の被災が最も多く、次いで50代の被災が多くなっています。50歳以上の被災者が全体の7割以上を占めていることに注意が必要です。また、高齢者の場合、休業期間が長期化する傾向もみられます。

年代別死傷者数(12月～2月)

